

令和6年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 7 年 2 月 26 日

※本書式は、従来の書式例です。

札幌市立 厚別南中学校

1 今年度の重点目標

<学校教育目標> 自らを切り拓く人間性豊かな生徒の育成 ○ 高い知性を創造する能力を育む ○ 自他を尊重する豊かな心と強い意志を育む ○ 心身の健康を保持増進する実践力を育む
--

2 本年度の経営方針

① 生徒が主体的に考え行動できる場の設定 ② 生徒を主体とした、学びを楽しむ授業づくりの実践 ③ 仲間と関わり合う場を積極的に創出 ④ 「生徒」を主題にして語る ⑤ 手を掛け過ぎずに目と心をしっかり掛け、生徒の声を良く聴く

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	重点項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
			達成状況	改善方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
目指す子ども像	・学校づくりの主人公として仲間とともに夢を語り合う生徒	・学校評価アンケート設問②「生徒の主体的活動」 ・学校評価アンケート設問①「自治的活動」	B	設問②に関して保護者、教職員は肯定意見が85%を超えているが、生徒は否定的意見が43%あり、生徒が意見を発表できる場の設定を増やす。また設問①に関しては、保護者、生徒、教職員ともに85%超えている。	A	B
学校関係者評価委員会による意見		数値により問題点を適切に把握している。否定的な回答として、自分の意見を表現することが苦手な生徒もいることも考慮するべきである。より工夫して、生徒が発表できる場を増やしてほしい。				

人間尊重の教育	・一人一人が大切にされていると感じられる学校づくり	学校評価アンケート設問①「こどもの声を聴く」 学校評価アンケート設問③「命の大切さ」	B	設問①に関しては保護者、生徒、教職員ともに肯定的回答が75%を超えているが、保護者、生徒で否定的回答が20%あるので、行事等の内容を精査し、子供の相互承認を増やす機会を増やす必要がある。設問③に関しては保護者、生徒、教職員ともに80%を超えている。	A	B
「学ぶ力」の育成	・主体的、対話的に学ぶ生徒の育成	学校評価アンケート設問②「生徒の主体的活動」 学校評価アンケート設問⑤「課題探究学習」	B	設問②に関して保護者、教職員は肯定意見が85%を超えているが、生徒は否定的意見が43%あり意見を出せない生徒に配慮する必要がある。また設問⑤に関しては肯定的意見が70%以上あるが、生徒に関しては否定的意見が30%超えているので、授業で興味関心を持つような工夫が必要である。	A	B
「豊かな心」の育成	・特別の教科「道徳」の充実	学校評価アンケート設問⑥「豊かな心」 学校評価アンケート設問③「命の大切さ」	A	設問⑥に関して、保護者、生徒、教職員とも肯定的回答が80%超えている。また設問③に関しては、保護者、生徒、教職員とも肯定的回答がほぼ90%であるので、方針は継続しより効果的な方法を模索する。	A	A
「健やかな体」の育成	・生徒の心身の健康を保持し増進する資質能力の育成	学校評価アンケート設問⑫「健やかな体」	A	設問⑫に関しては、保護者、教職員の肯定的回答は80%を超えているが、生徒に関して肯定的回答は72%であり、否定的回答も27%あるので、運動に親しむ環境づくりが必要である。	A	A
一貫性・連続性のある教育(小中一貫した教育)	・9年間の学びをデザインする 15の春の姿の共有	学校評価アンケート設問③「開かれた学校、情報提供」 学校評価アンケート設問④「小学校や地域との連携」	A	設問③については、保護者、教職員ともに肯定的回答が90%超えているが、生徒では肯定的回答が64%、否定的回答が35%である。また設問④に関しては、保護者、教職員ともに肯定的回答が約90%であるが、生徒に関しては生徒では肯定的回答が70%、否定的回答が30%である。生徒への周知の工夫が必要である。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		アンケートの結果から否定的回答も一定数あるが、大部分は肯定的な回答が多く学校として保護者の理解が得られていると考えられる。現状の方針を維持しつつより改善に努めてほしい。				

学校独自に設定する分野	・「不登校支援が十分に行われているか」について、学校評価アンケート設問⑮	B	設問⑮に関して、肯定的回答が保護者73%、教職員93%、生徒65%であるが、否定的回答が保護者26%、教職員7%、生徒34%であり、クロームブックの利用しての学習支援などの充実を図る必要がある。	A	B	
	・「いじめ防止の対策が十分に行われている」について、学校評価アンケート設問⑦	B	設問⑦に関して、肯定的回答が保護者73%、教職員100%、生徒72%であるが、否定的回答が保護者27%、生徒28%であり、チャボテン等を利用し意見を言えない生徒の声を拾い上げる必要がある。	A	B	
	・「札幌らしい教育の推進」について、学校評価アンケート設問⑭	A	設問⑭に関して、肯定的回答が保護者81%、教職員71%、生徒81%であるが、否定的回答が保護者17%、教職員29%、生徒19%であり、バス代の高騰を考慮したスキー学習の計画を見直す必要がある。	A	A	
学校関係者評価委員会による意見		本校の不登校の人数は他校に比較すると少ないが、別室登校、クロームブックによる学習支援などの個に応じた対策がとられている。チャボテンログの活用など、生徒の声を拾い上げる新しい対策がとられていることに感心した。またスキー学習が、バス代高騰により影響を受けていることが理解できた。				